

Jアラート受信用

CS アンテナの調整方法

- 01 Jアラートとは
- 02 アンテナ設置時の注意点
- 03 CS アンテナ調整前の準備
- 04 CS アンテナの調整

01 Jアラートとは

概要

Jアラートは、消防庁が管理運用している全国瞬時警報システムの通称です。消防庁では、緊急地震速報をはじめ、津波情報、弾道ミサイル発射情報といった対処に時間的余裕のない事態に関する緊急情報を人工衛星を用いて市町村の同報系防災業務無線等を自動的に起動させることにより、住民に瞬時に伝達するシステムの整備を行っています。さらに消防庁では、同報系防災行政無線以外にも、業務用無線方式の一つである MCA 無線やコミュニティ FM など多様な手段を用いて緊急情報を住民に伝達することや、新たに開発された Jアラート専用小型受信機を用いて、消防署所、役場出先庁舎、公立学校・病院等において情報を直接受信できるようにするなど、利用範囲の拡大に取り組んでいます。

02 アンテナ設置時の注意点

LF995 利用における注意点

LF995 をはじめとする当社 RF フィールドテスター、ならびにシグナルレベルメーターを使用して Jアラート受信用の CS アンテナの方向調整にご使用いただくことができます。LF995 および LF965 で動作することを確認しています。ただし、Jアラートの放送方式は通常の放送波とは異なるため、レベル測定値は保証できませんのでご注意ください。また、受信同期が確立できないため、C/N や BER の測定はできません。

Jアラート受信機での受信状況の確認 (必須)

LF995 等によるアンテナ調整を行った後、必ず別途 Jアラート受信機での受信状況の確認を行ってください。Jアラート受信機での受信確認方法は、Jアラート受信機の取扱説明書等をご確認ください。

03 CS アンテナ調整前の準備

受信衛星および CS アンテナ

Jアラートを受信するための衛星、および CS アンテナの内容を以下にまとめます。

- 衛星：東経 162° の「Superbird-B」
- 偏波：水平 (H) 偏波
- 仰角／方位角／偏波角：アンテナを設置する場所に合わせて設定
- 受信チャンネル：21ch

LF995 の準備

CS アンテナの調整前に LF995 に「SUPREBIRD-B」のプリセットを行います。事前にプリセットを行うことでアンテナ調整するときに簡単に測定を始めることができます。設定手順を以下に示します。

- 1 LF995 の電源をオンにします。
- 2 「プリセット」をタップします。



- 3 「TV測定」をタップします。



- 4 「プリセット追加アイコン」をタップします。



- 5 ステップ 1/3 において帯域・衛星／局発周波数／偏波のリストから「SUPERBIRD-B／11.3GHz※／H」をタップして選択し「追加」をタップします。※使用するアンテナによって異なります。



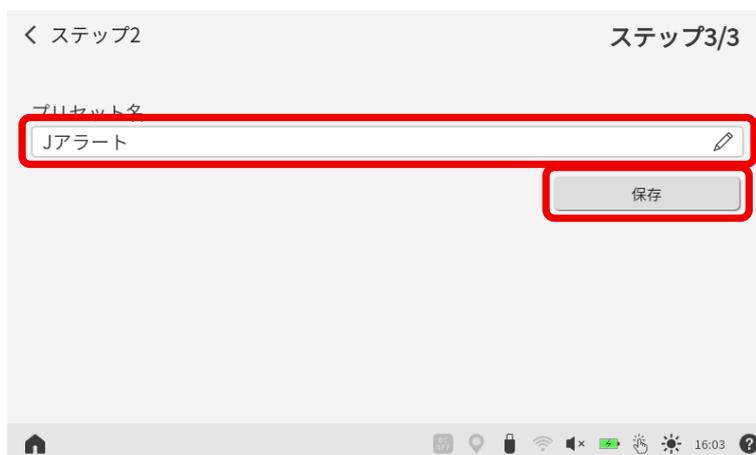
- 6 ユーザーテーブルに「SUPERBIRD-B H 11.3GHz」があることを確認し「次へ」をタップします。



- 7 ステップ2/3において「次へ」をタップします。



- 8 ステップ3/3において、プリセット名を入力して「保存」をタップします。



04 CS アンテナの調整

LF995 を使用した CS アンテナの調整手順を示します。

LF995 操作手順

- 1 LF995 の入力端子に同軸ケーブルを接続します。
- 2 同軸ケーブルのもう一方を CS コンバータの出力端子に接続します。
- 3 LF995 の電源をオンにします。
- 4 「TV 測定」をタップします。



- 5 「プリセット呼出」をタップします。



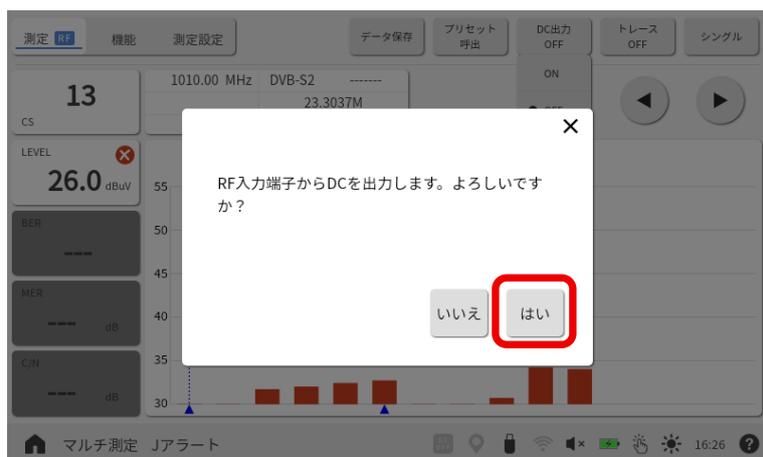
6 事前に作成し保存したプリセット名をタップします。



7 「DC出力」を選択して「ON」をタップします。



9 「はい」をタップします。



10 「DC ON」のアイコンが赤点灯します。「シングル」を選択します。



11 「チャンネル」表示部をタップします。



12 チャンネルリスト部分を左右にスワイプし「21」chをタップして選択します。



13 BER、MER、C/N 測定値表示部分をダブルタップ（2回連続してタップする）します。



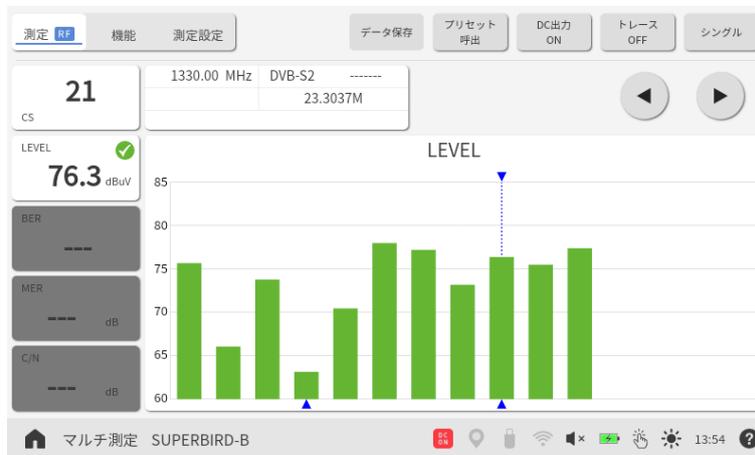
14 「21」ch を選択してレベルのみ表示した状態となります。



CS アンテナの調整手順

- 1 CS コンバータの偏波角を「水平偏波」に設定します。
- 2 受信する地域に合わせた仰角を設定します。
- 3 アンテナを東の方角に向け、LF995 のレベル測定値を確認しながら南の方角へゆっくり動かします。
- 4 LF995 のレベル測定値が表示し始めたら一旦止めます。
- 5 方位角、仰角、偏波角を微調整してレベル測定値が最大となるようにします。
- 6 CS アンテナを固定します。

- 7 LF995 の表示モードを「マルチ」に変更して、他のチャンネルを含めた全体のバーグラフ波形を確認します。※20ch、21ch に波形があることを確認。



○ 正しい衛星を受信した場合



✗ 他の衛星を受信した場合の例

リーダー電子株式会社

住所	〒223-8505 神奈川県横浜市港北区綱島東 2-6-33
電話	045-541-2122
メール	sales@leader.co.jp
URL	www.leader.co.jp
発行	2025年10月6日 初版